

平成 29 年 9 月 11 日

平成 29 年自然災害フォーラム論文募集の案内

公益社団法人 土木学会四国支部四国地域緊急災害調査委員会  
委員長 中野 晋

今年 7 月には、梅雨前線に流れ込んだ湿った空気が福岡県朝倉市や大分県日田市に記録的豪雨をもたらし、大規模な土石流災害や洪水災害を引き起こしました。

本委員会は四国地域の自然災害に対して緊急調査を実施し、自然災害による被害の軽減を行うことを目的として設置されており、これまでもチリ中部地震津波、東北地方太平洋沖地震、平成 26 年台風 12・11 号台風などについて合同調査を実施し、設置当初から毎年 1 回災害調査や災害研究の情報共有を図るため、自然災害フォーラムを開催しています。

本年も下記のように自然災害フォーラムを開催することになりましたので、開催についてのご案内と一般講演者の論文募集を行います。多数の方のご参加と論文のご応募をお願いいたします。

なお、本フォーラムは、第 12 回南海地震四国地域学術シンポジウムと合同で開催致します。

記

主 催：土木学会四国支部、京都大学防災研究所自然災害研究協議会四国地区部会

共 催：国土交通省四国地方整備局、四国の各大学など（これから調整予定）

日 時：平成 30 年 1 月 17 日（水）10:00～17:00

場 所：サンポートホール高松 61 会議室（高松市サンポート 2-1）

論文募集案内：

1) 投稿申込締切 平成 29 年 12 月 1 日（金）

論文題目、著者名、所属、連絡先（住所と e-mail アドレス）、概要（100 字程度）を明記の上、徳島大学:中野（nakano.susumu@tokushima-u.ac.jp）まで申し込んでください。

2) 論文原稿締切 平成 30 年 1 月 5 日（金）

原稿作成方法は別紙の原稿執筆要領を参照してください。論文は A4 サイズ、4～10 頁の偶数ページといたします。なお、本フォーラムでは論文内容にかかる査読はいたしません。論文体裁等のチェックを行い、統一を図るため、修正をお願いすることもございます。

3) 論文投稿料：無料ですが、論文集（4000 円を予定、南海地震シンポジウム論文集との合冊）を 1 部購入して頂きます。

平成 29 年 9 月 11 日

第 12 回南海地震四国地域学術シンポジウム論文募集の案内

公益社団法人 土木学会四国支部四国ブロック南海地震研究委員会  
委員長 矢田部 龍一

南海トラフ巨大地震による被害は、最悪の場合、犠牲者 32 万人、被害金額 220 兆円にも上ると想定されています。四国地域でも南海トラフ巨大地震対応のために各種の準備が着々となされています。

土木学会四国支部四国ブロック南海地震研究委員会では、以下の要領で南海地震四国地域学術シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、四国の各行政機関の東南トラフ巨大地震への取り組みの紹介とともに、各研究機関の最新の学術・技術研究成果が発表されます。多数の方の論文発表を期待しています。

なお、本シンポジウムは、自然災害フォーラムと合同で開催致します。

記

主 催：土木学会四国支部、京都大学防災研究所自然災害研究協議会四国地区部会

共 催：国土交通省四国地方整備局、四国の各大学など（これから調整予定）

日 時：平成 30 年 1 月 17 日（水）10:00～17:00

場 所：サンポートホール高松 61 会議室（高松市サンポート 2-1）

論文募集案内：

1) 投稿申込締切 平成 29 年 12 月 1 日（金）

論文題目、著者名、所属、連絡先（住所と e-mail アドレス）、概要（100 字程度）を明記の上、愛媛大学:矢田部（yatabe.ryuichi.mu@ehime-u.ac.jp）まで申し込んでください。

2) 論文原稿締切 平成 30 年 1 月 5 日（金）

原稿作成方法は HP 掲載の原稿執筆要領を参照してください。論文は A4 サイズ、4～10 頁の偶数ページといたします。なお、本フォーラムでは論文内容にかかる査読はいたしません。論文体裁等のチェックを行い、統一を図るため、修正をお願いすることもございます。

3) 論文投稿料：無料ですが、論文集（4000 円を予定、南海地震シンポジウム論文集との合冊）を 1 部購入して頂きます。